

自称・対称代名詞とその省略

—映画『女人四十』にみる—

小林美恵子

1. はじめに

小林(1997)では、対象となった職場資料における自称代名詞使用率として女性2.98%(発話者の明らかな発話8720中260例)男性1.87%(同じく2143発話中40例)という結果を得た。また、対称代名詞「あなた」「おまえ」などについては、男女の発話総数10863に対し26例にすぎず、その出現はきわめて少ないことがわかった。呼びかけや、文中での二人称として用いられる「名字・名前(さん・ちゃん)」や「先生」「課長」などの役職名は女性に85例、男性に20例見られた。これと対称代名詞を合計すると131例(1.20%)である。

日本語における、自称・対称詞は周知のとおり、その文の人称を表す文法的に不可欠な要素として使われるというよりは、むしろ話者がその文にこめた意図や、相手に対する意識の反映として使われたり、使われなかったりという側面が強く、その出現率は他言語と比較しても少ないようである。もちろん文法が違うからと言ってしまえばそれまでなのだが、日本語において自称・対称詞の出現を抑制しているのは、具体的にはどのような要素なのかを、談話の中で中国語・英語とも比較しつつ、整理してみることとする。

2.1 資料について

資料として用いたのは香港映画『女人四十』(1995許鞍華監督、原語台詞は広東語)の香港版VCDによる中英字幕及び日本版ビデオによる日本語字幕の冒頭約10分間の台詞である。香港で上映される映画には、通常、中国語と英語の字幕が2段に入れている。映画字幕はもちろん自然の談話とはいえないが、画面を助けとし、実際に発話される台詞に対応するように、なるべくシンプルに、かつ会話として不自然ではなく読めるように作られている

とはいえるだろう。さらにこの映画の場合、同一条件下で字幕化された中国語（広東語風ではあるが一応、中国共通語である普通話）、英語（これも香港に通用する口語的なもの、というべきだろうが）と日本語を比較することができるので、日本語の自称・対称詞の省略の特徴を明らかにしやすいと考えた。

この映画は、40歳の有職の主婦である主人公メイが、夫の母の突然の死と、残された頑固で自己中心的な舅の老人性痴呆症に直面し、介護の中で舅と和解していくという現代的な問題を描き、公開時、日本でも話題になった。

資料は映画の最初、メイの日常生活を紹介する部分で、市場で魚を買おうとして魚屋の主人とやりとりする場面、メイの40歳の誕生日に、夫、20歳前後の息子、そして普段は階下に住み、祝いの食事にやってきた姑・舅とかわす家族の会話場面、勤務する会社での、社長及び新入社員として面接にきた若い女性との会話場面の3シーンである。

なお、中英字幕の中国語・英語は字幕という限られた場面に表された話しことばであるので、省略形なども多いし、また、前述のとおり、香港で通用する広東語や英語の影響を受けた、やや破格なものであることを付記しておく。(注)

2.2 資料に現れた自称・対称代名詞

次ページの表は中・英・日の字幕に現れた自称（一人称）・対称（二人称）の代名詞について、変化形や複数形も含め、その使われ方によって整理したものである。

表に見るとおり、中国語・英語では発話総数の約半数を数える自称・対称代名詞が用いられているが、日本語では1割強にすぎない。それでも、職場資料に比べればかなり高い出現率と言える。また職場資料と大きく違うのは対称詞の出現率の大きいことである。これは家庭内での、夫から妻、舅姑から嫁への発話で使われた例が多いことによるものと考えられる。なお、職場資料で対称詞として用いられた名前、役職的な呼称、親族呼称などは、本資料でも現れるが、そのほとんどは、中・英の同様な呼称に対応して使われている。後に掲げる例文(1)の「她」「she」→「お母さん」のような言い換えは、

三人称にのみ現れ、その数も少ない。特に自称・対称詞では1例も見られなかった。

(表)『女人四十』中・英・日字幕に現れた自称・対称代名詞

語	中 国 語			英 語			日 本 語		
	我 ① 我们	你 ② 你们	合計	I・we 変化形③	you 変化形④	合計	わたし 我⑤	あなた おまえ	合計
使われ方									
主格として	11	⑥22	33	24	18	42	2	2	4
目的格として	10	⑦10	20	11	⑧7	18	0	0	0
所有・所属を表す	8	7	15	5	7	2	2	3	5
前置詞句・修飾句を作る	0	2	2	5	4	9	0	1	1
断定・補語になる	0	0	0	0	0	0	0	1	1
呼びかけ	0	1	1	0	1	1	0	4	4
合計	29	42	71	45	37	82	4	⑨11	15
発話数⑩ 文数	150	147		149	147		132	133	

(表中の注について)

- ①我(わたし) 我们(わたしたち) ②你(あなた) 你们(あなたたち)
- ③ my me our us
- ④ your you (単・複)
- ⑤「我」は「我が社」(所有・所属を表す)の形で1例現れている。なお日本語に関しては自称にも対称にも複数形は見られなかった。
- ⑥「你看」(ごらんさい)「你试试」(試してごらん)のような命令形8例を含む。このような言い方は英語字幕には見られない。
- ⑦「麻烦你」(ご苦勞様)2例を含む。
- ⑧「thank you」(ありがとう)2例を含む。⑦⑧は決まった形の挨拶語と言える。
- ⑨「おまえ」6例の話者は家庭内における夫・舅であり、「あなた」5例は女性と、職場における社長(男性)によって用いられている。
- ⑩「発話」は、この場合字幕として1場面に現れるものを呼ぶこととする。発話は必ずしも1文ではなく、1発話中に2文が現れる場合、また1文が複数発話に及ぶ場合もあるので、別に文数も数えた。見るとおり、日本語版ではかなりの台詞の字幕が省略されている。これらはおもに1語の応答詞や呼びかけなどである。

3.1 日本語字幕に現れた自称・対称代名詞

日本語字幕に現れた「わたし」「あなた」「おまえ」が中英字幕の該当部分とどのように対応しているかを見ながら、その特徴について考える。

下線および()内の中・英の直訳は筆者が施したものである。また中国

語については、香港版なので原文は繁体字であるが、これも簡体字に直した。

①主格として用いられたもの

(1) 夫→メイ [中] 说什么她爱你，像你妈妈比像我妈妈更多。

(彼女はあなたを愛しているとかいって、私の母というよりまるであなたの母のようだ。)

[英] She loves you more than she loves me!

(彼女は私を愛するより、あなたを愛している。)

[日] おまえはお母さんのお気に入りだ。

(2) 姑→舅 [中] 换拖鞋 让我 来。(スリッパはわたしに履き替えさせて。)

[英] I'll do it. (わたしがするわ。)

[日] わたしが。

(3) 姑→メイ [中] 今天是你生日，让婆婆替你烧菜。

【「婆婆」は日本語の「姑」で、ここでは自称として使われている。】

(今日はあなたの誕生日だから、婆婆に、あなたのために料理を作らせて。)

[英] It's your birthday, let me do the cooking.

(あなたの誕生日よ。わたしに料理をさせて)

[日] 誕生日なんだから、わたしが作るわ。

(4) 姑→メイ [中] 现在又要烧饭，又要上班，很辛苦的。

(今はご飯も作り、仕事にも行かなくてはならない。ご苦労なことだわ。)

[英] Now you have to cook and work, it's too much.

[日] 今はあなたも仕事で大変でしょう？

主格として用いられた4例のうち(2)と(3)は、他の者ではなく、その者が、という排他的な意味を持つ。特に(2)は「女がスリッパを履かせろ」とメイに命じた舅に対して、メイをかばった姑のことばで「する」ことに主眼があるのではなく「メイでなく自分が」という強い意図から、述語が省略されている。(1)も比較の対象としての「夫よりは」という意味合いが込められた排他的な傾向を含む主題といえよう。(4)の「も」はいわゆる「取り立て」で、

これも「あなた」を同類の「他」から特に区別して取り立てているわけだが、中・英については料理も、仕事も、という意の並列はあっても、「あなた」についての取り立ては示されていないようだ。中国語では、この場合対称詞も省略されている。その意味で、この「も」の使い方には興味深いものがある。いずれにせよ、日本語では、このように主格が省略されない場合、単なる提題や人称の表示ではなく、何らかの特異な意図が込められている。

②所有・所属を表す「～の」

(5) 舅→メイ [中] 不喝你的茶。(おまえのお茶は飲まない。)

[英] I won't drink your tea.

[日] おまえのは、飲まん。

お茶を勧めたメイに舅が断ることば。これも他の人でなく「おまえがいれた」お茶ということで、排他的に所属を示している。「の」が名詞の代用となっているので「おまえ」の省略はできない。排他的という意味では日本語版に現れた対称詞の他の2例についても同様である。

(6) メイ→息子 [中] 你妈妈的生日礼物。(あなたの母の誕生プレゼント)

[英] Your mother's birthday present.

[日] わたしの誕生プレゼント。

中・英・日とも全く同じ語順の名詞文であるが、中・英が「あなたの母の」という言い方になっているのに対し、日本語のみが「わたし」となっている。もっと幼い子供相手であれば「おかあさんの」となるところであろうか。

③行為の相手を示すもの

これは中国語で「替～」(～のために)「跟～」(～と)のように介詞(日本語の助詞にあたる)に続いて修飾語句を作るものであり、英語の場合は「for～」「with～」のように前置詞句を作るものである。日本語の場合は次の1例のみが該当する。中国語字幕では「たとえ喧嘩中でも(食事は)一家みんな一緒だ」と、喧嘩の相手がメイであることは会話の流れから推察させるような文型になっている。

(7) 夫→メイ [中] 是呀，就算是打架，总是一家人嘛。

[英] Yes, even with you quarrelled.

(そう、おまえと喧嘩していても。)

【本来はeven he quarrelled with you. とでもいうべきか？】

[日]【舅は】おまえと喧嘩中だが【誕生日の食事に】来る。

④ 断定を示すもの

(8) メイ→社長 [中] 她找你呀。(彼女はあなたに会いに来たのよ。)

[英] She is looking for you.

(彼女はあなたを探している。)

[日]【彼女が会いにきたのは】あなたでしょ。

中国語では目的語、英語でも前置詞句で目的語的な位置に置かれているが、日本語では断定の用法により、「あなた」はより排他的に強調されている。

⑤ 呼びかけ

中・英にある1例の「你」「you」は食事が待ちきれず、自分だけ勝手に食べてしまった舅に対して姑(舅の妻)が驚き、とがめる声をかけるシーンで用いられ、日本語でも「あなた」という呼びかけが対応して現れている。設定からすると主語の後省略(言いさし)とも考えられる。日本語の他の3例は、夫から妻(メイ)への「おまえ」2例とメイから夫への「あなた」で、前者は中国語では「太太」英語では「Honey」という呼びかけに対応し、後者は中・英では特に字幕には現れない。他に中・英では「爸爸」(父)「Dad」、
「大嫂」(長男の妻。英語は名前で呼ぶ)「May」、
「婆婆」(姑)「Mum」、
「爷爷」(祖父)「Father」「Grand-dad」、
「老板」(魚屋の店員が主人を呼ぶ)「Boss」、
「阿一」(メイの息子の愛称。英語では次のような英名で)「Allen」などがあるが、日本語ではこのうち、夫が舅を呼ぶ「父さん」、メイが姑を呼ぶ「お母さん」、魚屋の店員から主人への「大将」が訳出されているだけで、あとは字幕化されていない。

3.2 自称・対称代名詞の省略

中・英字幕には現れるが、日本語字幕では省略されている自称・対称代名詞について、なぜ省略が可能なのかを概観する。

①主格の省略

仁田（1991）、田窪（1997）などに整理されているように、日本語の主体を表す名詞句、ガ格などにはさまざまな人称制限が見られる。ある表現のモダリティの主体名詞句が一つの人称に限られるとすれば、それは省略が可能であるということになる。このようなことから、特に談話では、次の例にも見られるように、意志・希望・感情・感覚等を表出する文の一人称主格、命令・依頼・禁止・誘いかけ、希望・意志の問いかけの文の二人称主格などは通常省略される。また、談話中ですでに提題として提示された名詞句も省略されることが多い。

(10)のように述部に待遇的意味を含む語がくる場合にも主格は省略しうる。

(9)メイ→夫 [中] 我 去外面吃。(わたしは外に食べにいくわ。)

[英] I'm going out. (わたしはでかけるわ。)

[日] でかけるわ。

(10)メイ→姑 [中] 不用了。你 太辛苦了。

(結構です。あなたがとても大変です。)

[英] No thanks. It's too much for you, too.

(結構です。あなたにとっても大変すぎます。)

[日] ご迷惑ですから。

したがって、人称代名詞に限らず、主格自体が省略される文が日本語ではきわめて多くなる。本資料日本語版についても、133文中から一語の名詞文、応答詞、挨拶語文などを除く114文についてみると、省略された主格を想定しうる文が54あり、命令文26とあわせて80文は主格を持っていない文である。

②行為・動作の対象を表す語の省略

(11)舅→姑 [中] 走啦。下去泡茶给我喝。

(行くぞ。階下に下りてお茶をいれて、おれに飲ませてくれ。)

〔英〕 I've finished. Come home and make me tea.

(おれは終わった。家に帰っておれにお茶をいれてくれ)

〔日〕 食い終わった。家でお茶を。

行為・動作の対象は中・英では例(11)のように一般に目的語として現れるが、日本語では、特に「他の人にではなく」という排他的意味を持つ場合のほかは省略されることが多い。また中・英では前掲(3)のような「let～」のような使役形の命令文がよく現れるが、これも日本語では特に排他的に「～に」させよ、と命ずる場合以外は、通常命令文としては訳出されていない。

③所有・所属を表す「～の」形の省略

(12) 夫→妻・息子〔中〕我的拖鞋呢？ 跑了我的拖鞋去哪里？

(おれのスリッパは？ おれのスリッパはどこへ行った？)

【後半、「我的拖鞋哪里去了？」が中国語としては普通か。】

〔英〕 Where are my slippers?

〔日〕 スリッパがないぞ？

(13) 姑→メイ〔中〕倒不如再回来我家吃饭吧？

(またわたしの家に食べに来るほうがいいのでは？)

〔英〕 Why not come to our place again?

(なぜ、またわたしたちの所に来ないの？)

〔日〕 またうちで食べれば？

前掲例(3)のように、話の流れから誰の誕生日かわかる場合は日本語では省略するほうが普通である。(12)(13)についても同様。なお、(13)の場合、中・英の「家」「place」が単に客観的な場所を示すのに対し、「うち」には「自分の」という意が内包されていると見るべきか。特に強い排他的意図がない限り「～のうち」とは言わないようである。

(14) 社長→新入社員〔中〕胡小姐是我的业务主任。

(胡さんは我が社の業務主任です。)

〔英〕 Mrs. Sun is our sales manager.

(孫夫人は～)

〔日〕 販売主任の孫さんです。

【メイの姓は「胡」で、「孫」氏の妻である。中国では結婚後も改姓はしないのが普通】

(15) 新入社員→メイ 〔中〕 你们 公司 有没有 电脑 ？

(おたくの会社はコンピュータはありますか？)

〔英〕 Do you have computers here?

〔日〕 コンピュータは？

英語では自・対称代名詞複数形で、中国語では「我们公司」「你们公司」のように表される「会社」だが、日本語では「我が社」「貴社」のような言い方はかなり改まった場合にしかされないし、「うち」と同様、特に排他的な意味がないかぎり「わたしの会社」「あなたの会社」も言わない。

4. まとめ

資料は限られた長さの映写字幕上に示されるということもあり、特に日本語字幕では全体的に表現が切りつめられている。その中で、自称・対称代名詞も、他の人を指すのではなくその人自身を指すことを強調したり、行為よりは行為をする人について述べるというような排他的な意味を含む場合の使用がほとんどで、それ以外の単純な一人称主格や、問いかけ文の二人称主格、所属を示す自・対称詞などは省略される傾向にある。それでも観客に意味が通じるのは画面の助けがあるからにはほかならないが、談話の場、人間関係などが参加者に共通に理解されている自然の談話でも同様な状況が存在するといえるのではないか。紙数の制約もあり、小論では実態の記述にとどまり、分析には至らなかったが、今後はそのあたりも考えつつ、資料を増やして分析を進めてみたい。

(注) 中英字幕の不明点等に関しては、中国語については孫琦さん、英語については佐々木恵理さんに、それぞれ校定を含み、ご教示いただいた。深く感謝する。なお、例文に付した【 】内は、お二人のご教示をも参考にしつつ、筆者が加えた補注である。

参考資料・文献

- ・『女人四十』中英字幕VCD 香港・星光娛樂有限公司版
日本語字幕 寺尾次郎・NHKアジア映画劇場放映版
- ・小林美恵子1997「自称・対称は中性化するか？」(『女性のことば・職場編』現代日本語研究会編・ひつじ書房)
- ・田窪行則1997「日本語の人称表現」(『視点と行動』くろしお出版)
- ・仁田義雄1991『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房